

山 市議団週報



No.120

23. 6. 8

日本共産党

郡山市議団

郡山市深沢2

丁目 10-12

☎922-3801

☎932-1903

郡山原水協が対市要請を実施

日本は核禁条約に参加を！

6日(火)、郡山原水協(笠原浩理事長)が原水禁世界大会の開催に先立って、郡山市への要請行動を実施しました。要請事項は、以下の通りです。

- ①日本政府が核兵器禁止条約に署名・批准することを市として求めること。②「平和行進ペナント」への協力。③平和行進出発式を本庁舎玄関前で開催すること。④市として、激励のあいさつをいただきたいこと。



4点の要望に対して、②の平和行進ペナントへの協力を得ることができましたが、

他の3点は、拒否されました。

市への要請には、笠原理事長はじめ4名が参加、共産党市議団から高橋市議が同席しました(写真右端)。市側は、宗方総務部長が対応しました。

郡山市は核兵器廃絶都市なのに！

郡山市は、1984年に「核兵器廃絶都市宣言」をあげ、2016年には「日本非核宣言自治体協議会」に加盟しています。いずれも核兵器廃絶のため、誠実に努力することが求められます。郡山市が、原水爆禁止世界大会の成功のために、可能な協力を惜しまないことは、当然の責務だと言わなければなりません。

今年の平和行進は27日、28日！

今年の平和行進は6月27日(火) 17時30分〜開成山北側入口、28日(水) 9時30分〜開成山北側入口から、それぞれパレードを実施。

もう、日本のすべてが壊れ始めている！

先日、二人の生活保護受給者と話をしたら、この間の保護費の減額と物価高騰に怒り心頭だった。「全く贅沢しているわけではないのに月末には生活費が不足する」「食事を減らしたり外出を控えるなど我慢の連続だ」

「これでは最低限ではなく、最低の生活だ」・・・生活保護受給者だけではない。長年の日曜版読者から購読中止の連絡があったりと、働く人たちにも貧困の波が確実に押し寄せている。もう貧困の深まりは、すでに我慢の限界を超えている。

しかし、日本が深刻なのは、限界を超えた問題が、貧困問題だけではないことだ。今の国会状況をみれば、議会制民主主義も、完全に破綻している。国会を取り巻く国民の抗議の声も、共産党議員等の理性の意見も、自公両党とこれに加担する維新、国民の横暴により完全に無視され、希代の悪法が次々と成立させられている。日本が世界に誇る平和主義も崩壊の危機だ。沖縄の島々では、住民の反対は無視され、ミサイル配備が強行されている。日本中の自衛隊基地が、強靱化の名目で、地下移設化が急ピッチで進行しようとしている。軍事費の2倍化は、アメリカ製旧式兵器の爆買いのつじつま合わせに過ぎず、青天井の軍事費拡大につながる危険性を多くの国民は感じている。国民皆保険制度など世界に誇った社会補償制度も、完全に崩壊している。40年間働いて積み上げたはずの年金も、それだけでは生きていけない超低額支給。鳴り物入りで導入された介護保険制度も、結局負担ばかりのサービスなしという詐欺のような制度だと明らかになった。そして、極めつけが為政者のモラルの崩壊だ。「異次元の子育て支援」など、自分で言うか！というほどの異次元の厚顔無恥さ。親ばかりを世界に示した首相長男の秘書官抜擢と更迭。そして、ほんとに最後の砦というべきなのが国民主権。これほどの悪政が全く変えられない、いや変えようとさえしない国民主権の現状！これでいいはずがない！